

【試合結果】																					
2017年7月9日(sun) 9:30~																					
会場	北見道立体育館																				
結果	北見小泉	65	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>24</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	21	—	11	10	—	9	24	—	8	10	—	12	—	—	—	40	北見北	
21	—	11																			
10	—	9																			
24	—	8																			
10	—	12																			
—	—	—																			
審判	主審	菊地 学	副審	庄司 望美																	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見小泉									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	桑島 花鈴	×	17	1	6	2	2	0	4
5	工藤 彩唯	×	13	0	6	1	3	3	3
6	渡辺 絵吏	×	20	6	1	0	6	0	2
7	平泉 さくら	/	2	0	1	0	0	0	0
8	古川 美桜	×	4	0	2	0	2	1	1
9	小泉 葵	×	9	1	3	0	1	2	0
10	河合 花奈								
11	富塚 優七								
12	市田 妃奈花								
13	小池 ななみ								
14	尾形 まどか								
15	山崎 菜月								
16	野理 奏季								
17									
18									
C	伏見 元								
合計			65	8	19	3	14	6	10

北見北									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	五十嵐 悠	×	2	0	1	0	0	0	2
5	辻 こゆり	/	4	0	2	0	1	1	2
6	西尾 恵	×	18	2	5	2	0	1	2
7	國村 彩歌								
8	土橋 ななみ	×	2	0	1	0	1	4	0
9	山中 紫草								
10	熊谷 結愛								
11	松田 彩佳	/	6	0	3	0	1	1	2
12	志賀 朱里								
13	立花 あみん								
14	木内 愛華	×	0	0	0	0	0	0	0
15	増田 桃羽	/	0	0	0	0	0	0	0
16	鈴木 菜々胡								
17	佐藤 紫桜里								
18	松田 智佳	×	8	0	4	0	0	3	2
C	大浦 幸一								
合計			40	2	16	2	3	10	10

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

女子準決勝Aコートは北見対決。逆ヤマは北見南—北見光西が対戦。今年度は北見が全道中体連の開催地となっており、両チームとも開催地枠を含め全道大会への出場が決まっている。小泉—北見北の勝者が全道大会への切符を手に入れるため、残りの一枠を争う大事な一戦。

1Q、小泉4、5、6、8、9、北見北4、6、8、14、18でスタート。小泉は積極的にドライブを仕掛けるが、北見北の素早い2線ヘルプに対応できず、外からの単発なシュートが続くが、開始4分の3Pシュート3本は全て成功させる。北見北はパス、カッティングを繰り返しながらリングへのアタックを続け、小泉へ食らいついていく。小泉が北見北のターンオーバーを逃さず連続得点へつなげ、残り1分20秒で19—11と小泉がリードしたところで北見北がタイムアウト。追いつくまでには至らず、21—11の小泉リードで1Q終了。

2Q、開始1分で北見北が18のバスケットカウントと6の3Pで一気に5点差まで差を縮める。小泉は5のインサイドプレーを中心に、得点を積んでいく。開始3分半、北見北の連続ミスから小泉がレイアップを決め、28—18と点差が開いたところで北見北がタイムアウト。両チームともレイアップ、ジャンパーを中心にシュート本数は増えていくが、それがなかなか決まらない。2Qは31—20で終了。

3Q、小泉に追いつこうとシュートを放つ北見北だが、ことごとくリングに嫌われる。こぼれ球を小泉が確実に回収、ファーストブレイクからの得点を重ね、開始2分で37—20とリードを広げる。なかなか追いつくことのできない北見北、小泉6に今日4本目の3Pシュートを決められ、42—22となったところでタイムアウト。タイム後、北見北は5のインサイドを起点に攻撃を展開。小泉はリバウンドブレイクが波に乗り、小泉4のバスケットカウントで流れは完全に小泉。3Qは55—28と小泉がリードを広げて終了。

4Q、一進一退の攻防が続くが、北見北は点差を縮めることができない。最後まで攻撃の手を緩めなかった小泉が66—40で勝利。全道大会への切符を手にした。

記録:三鍋 健太(紋別市立潮見中学校)